



2024年3月27日

各 位

会社名 キムラユニティー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 成瀬 茂広  
(コード番号 9368 東証スタンダード・名証プレミア)  
問合せ先 取締役副社長 管理本部長 小山 幸弘  
(TEL : 052-962-7554)

## 「キムラユニティーグループ中期経営計画 2026」策定に関するお知らせ

この度、当社グループは、2026年度(2027年3月期)を最終年度とする中期経営計画 2026 を策定いたしましたので、下記の通り、お知らせいたします。

今回策定した中期経営計画 2026 は、中期経営計画 2023 で取り組んできた、一人ひとりが自らの力を発揮し、最大限に活かす「全員参画による One Team 経営」の“基盤構築”のフェーズから、“戦略確立”のフェーズに移行し、次もお客様から選んでいただける商品・サービスへと磨き上げることで、「キムラブランド」を確立し、創業 150 年、更にもその先への成長・発展に繋げてまいります。

キムラユニティーグループの総力を挙げて、中期経営計画 2026 の達成を目指し、ステークホルダーの皆様のご期待に沿えるように取り組んでまいります。今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 記

#### 1. 中期経営計画 2023 の総括

##### (1) 総括

中期経営計画 2023 では、「全員参画による One Team 経営をベースとし、既存事業の枠を超えた事業戦略の推進」をコンセプトに取り組んでまいりました。

「全員参画による One Team 経営の推進」につきましては、現場最前線に中心を置き、一人ひとりが採算視点で課題を見つけ出し、タイムリーに解決を図る日々決算活動の進展により、収益基盤の強化が図られ、また、働く人を主役に据えた職場風土づくりや働きやすい環境づくりを推進することで、定着率の向上に繋げてまいりました。

「既存事業の枠を超えた事業戦略の推進」につきましては、各事業と IT を組み合わせた商品・サービスの開発や事業展開を図り、物流サービス事業×IT では、お客様の大型物流センター立ち上げへの参画や開発システムの特許取得を通じて、ミニマム要員と納期保証を両立させるシステムとオペレーションの実現に取り組んでまいりました。また、自動車サービス事業×IT では、クラウド型車両管理システム「KIBACO」への事故削減に向けた e-ラーニング機能やアルコールチェックオプション等の機能拡充を図り、お客様へのサービス拡充や利便性の向上を図ってまいりました。

この結果、売上高につきましては、新型コロナウイルスやウクライナ情勢等の想定外の外的要因の影響もあり、物量が伸び悩み、未達の見込みですが、利益面につきましては、いずれも達成の見込みとなっております。

こうした中期経営計画 2023 の取り組みを通じて、これまで取り組んできた「全員参画による One Team 経営」の基盤構築を確固たるものにできたと実感しております。

## (2) 中期経営計画 2023 の達成状況 (連結業績)

	2024 年 3 月期		達成率 (%)
	当初計画	修正予想 (2/22)	
売上高 (百万円)	65,000	60,000	92.3
営業利益 (百万円)	4,000	4,000	100.0
経常利益 (百万円)	4,300	4,600	107.0
当期純利益 (百万円)	3,000	3,000	100.0
1 株当たり当期純利益 (円)	(※) 124.29	136.50	109.8
ROE (%)	8.0	8.6	107.5

(※) 2022 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。

このため、1 株当たり当期純利益につきましては、株式分割を考慮して表示しております。

## 2. 中期経営計画 2026 の概要

中期経営計画 2026 につきましては、2024 年問題や人手不足をはじめとする厳しい経営環境の中ですが、前中期経営計画における売上高未達の状況を打開すべく、「キムラの強みの実践と発信 (キムラブランドの確立)」の基本方針のもと、以下の各種戦略を推進してまいります。

### (1) 基本方針

#### □ キムラの強みの実践と発信 (キムラブランドの確立)

- ・キムラの強み = “人” × “機能” × “知識と経験”
- ・お客様へのお役立ちを図ろうとする“人”が、キムラが持っている豊富な商品ラインナップ・企画設計ノウハウ・システム開発・現場力といった“機能”と、創業 140 年以上に亘って培ってきた“知識と経験”を活かし、お客様のご期待にお応えしていく。このキムラの強みを磨き上げることで、次もお客様から選んでいただける「キムラブランド」を確立し、お客様への貢献拡大を図ってまいります。

## (2) 事業戦略・DX 戦略

### 物流サービス事業×情報サービス事業

- ・物流品質のバラツキを無くし、効率的な事業運営を行っていくための「エリア戦略の推進強化」
- ・「現場+IT による拡販戦略」で最適なソリューションを提供
- ・2024 問題に対するトラックの稼働率向上に向けた取り組み等の「新たな価値創造」
- ・「豊田通商様との連携強化」を図り、更なる海外進出の検討

### 自動車サービス事業×情報サービス事業

- ・お客様の第二の総務として、「KIBACO を軸としたビジネスの拡大」
- ・お客様と整備工場、両方のメリットを追求する「唯一無二のカーメンテ」
- ・車両架装事業をはじめとする「新たな価値創造」

## (3) 財務戦略

### 企業価値向上に向けた取り組み

- ・PBR：これまでの各種施策により、PBR1 倍に到達したものの、引き続き、本業での成長に加え資本コストを意識した経営に取り組むことで、更なる PBR 向上を目指してまいります。
- ・ROE：現状想定される株主資本コストを上回っていると認識をしているものの、収益性向上と最適な資本構成の追求で、ROE12%以上を目指してまいります。

### キャッシュアロケーション

- ・成長投資と株主還元を戦略的に配分し、事業の成長と資本収益性の向上を図ってまいります。
- ・成長投資：設備投資（倉庫等）、IT 投資、研究開発、人的資本投資、ESG 投資 等
- ・基盤投資：リース車両、機器/機材 等

### 株主還元

- ・2023 年 1 月に変更した還元方針に則り、配当性向 40%を目安に、財務基盤を維持しつつ、還元向上を図ってまいります。

## (4) ESG 投資

### Environment（地球環境のために）

- ・環境に配慮した物流資材の開発・提供や車両整備等、当社の事業活動を通じたサービスの提供により、CO<sub>2</sub>削減や資源循環等の環境保全に取り組み、企業の責任として、地球温暖化等の環境課題の解決に取り組んでまいります。

### Social（人的資本の拡充）

- ・経営理念を共有した共に働くすべての人々に、成長できる環境、挑戦できる環境の下で、「全員参画による One Team 経営」を推進することにより、働きがいに満ちた職場づくりに取り組んでまいります。

### Governance（ガバナンスの向上）

- ・コンプライアンスの徹底やリスクマネジメント活動の推進強化により、リスクの回避・抑制や不祥事の未然防止等に取り組み、開かれた透明性の高い経営を継続することで、ステークホルダーのベストパートナーであり続けます。

(5) 数値目標

□ 中期目標（連結業績）

	2024年3月期 予想	2027年3月期 中期計画	増減	
			金額（百万円）	比率（%）
売上高（百万円）	60,000	70,000	10,000	116.7
営業利益（百万円）	4,000	5,300	1,300	132.5
営業利益率（%）	6.7	7.6	0.9	113.4
ROE（%）*1	8.6	12.0	3.4	139.5
自己資本比率（%）	58.3	59.1	0.8	101.4
投資総額（百万円）*2	9,707	17,000	7,293	175.1

\*1 株主資本コスト：4.4～6.6%程度と認識、\*2 投資総額は3ヶ年の合計額

□ セグメント別売上高・営業利益目標

	セグメント	2024年3月期 予想	2027年3月期 中期計画	増減	
				金額（百万円）	比率（%）
売上高	物流サービス事業	42,800	49,500	6,700	115.7
	自動車サービス事業	14,400	16,000	1,600	111.1
	情報サービス事業	2,100	3,000	900	142.9
	人材サービス事業	1,700	2,500	800	147.1
	その他	45	50	5	111.1
	セグメント間相殺	△1,045	△1,050	△5	-
	合計	60,000	70,000	10,000	116.7
営業利益	物流サービス事業	4,480	5,500	1,020	122.8
	自動車サービス事業	750	950	200	126.7
	情報サービス事業	230	360	130	156.5
	人材サービス事業	40	70	30	175.0
	その他	15	15	0	100.0
	セグメント間相殺	△1,515	△1,595	△80	-
	合計	4,000	5,300	1,300	132.5

中期経営計画2026の詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上